

2026年度(令和8年度)

学 生 募 集 要 項

学校推薦型選抜

公立大学法人

会津大学短期大学部

目 次

I	入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
II	3 学科共通事項	
	1 出願資格	2
	2 出願手続	2
	3 入学検定料	3
	4 試験日程及び試験会場	3
	5 受験上の注意	3
	6 合格者の発表	4
	7 試験結果の情報開示請求	4
	8 入学手続	4
	9 学費その他納入金（初年度分）	5
	10 その他	5
III	産業情報学科	
	1 募集人員	6
	2 選抜方法及び試験科目・配点	6
	3 出願資格	6
	4 出願書類等	6
	5 調査書・推薦書等の活用方法	7
	6 入学前教育	7
IV	食物栄養学科	
	1 募集人員	8
	2 選抜方法及び試験科目・配点	8
	3 出願資格	8
	4 出願書類等	8
	5 調査書・推薦書等の活用方法	9
V	幼児教育・福祉学科	
	1 募集人員	10
	2 選抜方法及び試験科目・配点	10
	3 出願資格	10
	4 出願書類等	10
	5 調査書・推薦書・活動報告書の活用方法	10
	6 活動報告書について	11
VI	参考情報	
	1 奨学制度	13
	2 寮・アパート・下宿	13
VII	個人情報の取り扱いについて	13

= 綴り込み =

○入学願書・受験票

○推薦書

○受験票返送用封筒（長形3号封筒）

○出願封筒（角形2号封筒）

○振込依頼書（入学検定料用）

I 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

●会津大学短期大学部●

- 1 専門知識を身につける意欲、能力、適性がある人
- 2 幅広い教養と高い倫理観を身につけようと努力する人
- 3 問題解決能力と創造的展開能力を身につけて、社会に貢献しようとする意欲がある人

●産業情報学科●

産業情報学科では、経営情報コースおよびデザイン情報コースにおいて、産業や地域振興に関わる基礎から応用、そして実践にわたる教養を身につけ、短期大学士となるための教育を通し、豊かな人間性と実行力を持ち、社会の発展に貢献できる人材の育成を図るため、次のような適性を有する人を受け入れます。

- 1 幅広い教養と共に、経営情報コース、デザイン情報コース、それぞれの専門領域について関心が高く、探究心を持ち、自律的に学習する意欲がある人
- 2 基礎的な学力を持ち、情報化社会における情報の収集・分析・伝達・活用等について正しい知識を身につける意欲がある人
- 3 地域社会の活性化や社会問題の解決に向けて、人々との連携・協働を通じた提案や活動に積極的に取り組む意欲がある人

●食物栄養学科●

食物栄養学科では、食・栄養・健康について総合的な知識・技能を有する短期大学士となるための教育に加えて、人々の健康維持・増進に取り組む栄養士、食生活を豊かにすることに取り組むフードスペシャリスト、健康食品や食の安全・安心など、「食」へのニーズの多様化に対応するNR・サプリメントアドバイザーとなるための教育を行うことから、次のような適性を有する人を受け入れます。

- 1 食、栄養、健康の科学に関心があり、探求心を持ち、自律的に学習する意欲がある人
- 2 基礎的な学力を有し、物事を論理的に思考・判断・表現することができる人
- 3 人々と連携・協働して、食を通じた持続可能な社会の発展に貢献する意欲がある人

●幼児教育・福祉学科●

- 1 子どもをはじめ、すべての人々を取り巻く環境の変化や諸問題を理解する基礎学力があり、自ら学び考える人
- 2 子どもをはじめ、すべての人々の個々の尊厳と権利を深く理解し、現代社会の抱える諸問題に向き合っていける人
- 3 幼児教育・社会福祉における専門性と倫理観を身につけて、地域社会において貢献しようとする意欲がある人

Ⅱ 3 学科共通事項

1 出願資格

次の(1)、(2)及び(3)の要件をすべて満たすことが必要です。なお、共学ですので性別は問いません。

- (1) 次のいずれかの要件を満たす者
 - ア 高等学校もしくは中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者
 - イ 通常の課程により12年の学校教育を2026年3月修了見込みの者
- (2) 本学並びに当該学科・コースのアドミッション・ポリシーに合致し、本学において学業を成就する意志ありと出身学校長が認めて推薦する者
- (3) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

2 出願手続

2. 1 出願方法

出願書類等（産業情報学科は6ページ、食物栄養学科は8ページ、幼児教育・福祉学科は10ページを参照）を、本学に郵送または持参してください。

2. 2 受付期間

2025年11月4日(火)～2025年11月10日(月)

(注)郵送の場合は、締切日17:00必着とします。

本学に持参して提出する場合の窓口受付時間は、9:00～17:00とします。

ただし、土曜日、日曜日及び祝日は窓口受付を行いません。

2. 3 心身に障がい等のある方の申し出

心身の障がい等により、受験に特別な配慮を必要とする場合は、2025年8月29日(金)までに短期大学部事務室に申し出てください。

なお、障がい等（例：視覚障がい、聴覚障がい、言語機能障がい、肢体不自由、内部障がい、発達障がい等）の程度によっては、学科目・学科課程の履修が困難な場合がありますので、受験及び修学の上で配慮を必要とする場合は、必ず申し出てください。

2. 4 その他

- (1) 出願する際には、この募集要項に綴り込まれている封筒を使用し、志望する学科を○で囲んでください。
- (2) 入学願書受理後は、出願書類及び入学検定料は返還しません。また、出願書類の差替え及び再提出は原則認めません。

3 入学検定料

3. 1 金額

18,000円

(注)産業情報学科及び食物栄養学科の学校推薦型選抜において、一般推薦と資格推薦の両方に出願する場合であっても、入学検定料は18,000円です。

3. 2 納入方法

この募集要項に綴り込まれている振込依頼書に必要事項を記入の上、金融機関（ゆうちょ銀行を除く）の窓口にて振り込んでください。振込後、「銀行振込払込証明書」を願書裏面に貼り付けてください。

なお、現金または現金書留による納入等、金融機関での振込以外は認めません。

4 試験日程及び試験会場

4. 1 試験日程

学科	試験日程	
	2025年11月20日(木)	
産業情報学科	小論文 (9:00～10:20) 実 技 (9:00～11:00)	面接 (注)
食物栄養学科	小論文 (9:00～10:00)	面接 (注)
幼児教育・福祉学科	小論文 (9:00～10:20)	面接 (注)

(注)各個人の面接開始時刻については、受験票を返送する際に通知します。

4. 2 試験会場

本学（カバー裏表紙の位置図を参照してください。）

5 受験上の注意

- (1) 入学願書受理後、志望学科の変更は認めません。
- (2) 入学願書受理後、選択試験科目の変更は認めません（産業情報学科のみ）。
- (3) 受験票の返送には、入学願書締切り後5日程度かかります。試験日の3日前になっても受験票が届かない場合には、短期大学部事務室に問い合わせてください。
- (4) 受験の際には、受験票を必ず持参してください。なお、試験当日受験票を忘れた者は、受付で仮受験票の交付を受けてください。
- (5) 受験者は、試験当日8:35までに試験室に入室し、自分の受験番号と同じ席に着いてください。
- (6) 小論文及び実技（実技は産業情報学科のみ）の試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、試験時間は延長しません。
- (7) 試験時間中は、受験票を机の上に置いてください。
- (8) 試験時間中、机の上に置けるものは、原則として受験票、黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、鉛筆削り用カッターナイフ（実技試験のみ）、時計、眼鏡、ハンカチ、袋から取り出したティッシュペーパー、目薬とします。なお、机の上に置けるものは、監督者の指示に従ってください。
- (9) 試験時間中の途中退出は原則として認めません。
- (10) 試験中に不正行為をした者及び監督者の指示に従わない者は、受験資格を失います。
- (11) すべての科目を受験しない者は、選抜の対象から除かれます。
- (12) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の通信機器の試験会場内での使用は禁止します。なお、試験会場内ではかばん等に入れ、試験開始前に必ず電源を切ってください。

6 合格者の発表

6. 1 合格発表日時

2025年12月1日(月) 10:00

6. 2 発表方法

本学エントランスホールに掲示するとともに、本学ホームページ上でも公表します。

また、合格者本人宛に合格通知書を郵送するとともに、出身学校長に対し受験者の合否結果を文書にて通知します。

なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

7 試験結果の情報開示請求

受験者本人の試験結果について、口頭により開示請求をすることができます。

7. 1 受付期間及び時間

2025年12月1日(月)～12月12日(金) 10:00～17:00

(注)土曜日、日曜日は受け付けません。

7. 2 請求窓口及び開示場所

本学事務室窓口

7. 3 請求方法

受験票を提示して、口頭により開示請求してください。

7. 4 開示内容

受験者本人の総合得点

7. 5 留意事項

(1) 請求できるのは受験者本人に限ります。

(2) 電話等による問い合わせには、一切応じません。

8 入学手続

所定の入学料及びその他納入金を納入するとともに、郵送または合格者本人あるいは代理人による持参により、必要書類を提出して入学手続を行ってください。

8. 1 入学手続日

2025年12月17日(水) 9:00～15:00

(注)郵送の場合、入学手続日までに必着のこと。

8. 2 留意事項

(1) 上記期日までに入学手続を行わない者は、入学を辞退したものとみなします。

(2) 入学手続に必要な提出書類等の詳細については、合格通知の際にお知らせします。

(3) 入学手続が完了した者について、入学許可書を送付します。(2026年3月下旬頃)

9 学費その他納入金（初年度分）

2026年4月予定金額（改定する場合があります。）

種 別		産業情報学科		食物栄養学科	幼児教育・福祉学科	納入時期
		経営情報コース	デザイン情報コース			
入 学 料	福島県の住民 である場合（注1）	169,200円	169,200円	169,200円	169,200円	入学手続時
	福島県の住民 でない場合	364,000円	364,000円	364,000円	364,000円	
授業料（年額）		379,200円	379,200円	379,200円	379,200円	入学後、2回 （前期・後期） に分けて納入
実習経費（2年分）		40,000円	80,000円	141,500円	58,000円 （1年次分） （注2）	入学手続時
学生教育研究災害 傷害保険（2年分）		2,080円	2,080円	2,120円	2,080円	入学手続時
教育後援会費（年額）		35,000円	35,000円	35,000円	35,000円	入学手続時
同窓会費（終身）		5,000円	5,000円	5,000円	5,000円	入学手続時
合 計	福島県の住民 である場合	630,480円 (251,280円)	670,480円 (291,280円)	732,020円 (352,820円)	648,480円 (269,280円)	()内は入学 手続時納入額
	福島県の住民 でない場合	825,280円 (446,080円)	865,280円 (486,080円)	926,820円 (547,620円)	843,280円 (464,080円)	

（注1）「福島県の住民である場合」とは、本人または本人の配偶者若しくは一親等の尊属が、本人の入学の日（2026年4月1日）の1年前から引き続き福島県内に住所を有する場合をいいます。

（注2）幼児教育・福祉学科の実習経費は、選択する資格課程によって2年次に追加徴収する場合があります。

10 その他

学校推薦型選抜に合格しなかった者が一般選抜または総合型選抜（総合Ⅱ期）に出願する場合は、改めて出願手続を行ってください。

Ⅲ 産業情報学科

1 募集人員

30名 ※一般推薦、資格推薦及び特別推薦（指定校推薦）入学者を含みます。

※一般推薦と資格推薦の両方に出願できます。

2 選抜方法及び試験科目・配点

	選抜方法	試験科目	配点
一般推薦	右記試験科目による総合判定	調査書	10点
		小論文または実技（鉛筆デッサン）	45点
		面接（口頭試問を含む）	45点
資格推薦	右記試験科目による総合判定	調査書	50点
		面接（口頭試問を含む）	50点

3 出願資格

3. 1 一般推薦への出願資格

2ページの出願資格を満たしている場合、一般推薦に出願することができます。なお、産業情報学科では、出身学校における「学習成績の状況」について基準は設けません。

3. 2 資格推薦への出願資格

2ページの出願資格に加え、以下の検定試験のいずれかに合格している場合は、資格推薦に出願することができます（資格推薦のみ、または一般推薦及び資格推薦の両方に出願することができます）。

- (1) 日本商工会議所主催 簿記検定試験 2 級以上
- (2) 全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定試験 1 級
- (3) 全国商業高等学校協会主催 情報処理検定試験 1 級
- (4) 経済産業省主催 情報処理技術者試験（IT パスポート試験、基本情報技術者試験以上）
- (5) 日本英語検定協会主催 実用英語技能検定 2 級以上
- (6) 日本漢字能力検定協会主催 日本漢字能力検定 2 級以上

4 出願書類等

		一般推薦	資格推薦
(1) 入学願書・受験票	本学所定の様式 ア 学校推薦型選抜の様式に記入してください。 ※一般選抜、総合型選抜とは別様式となっているので注意してください。 イ 所定の欄に写真（縦 4 cm×横 3 cm、正面上半身無帽、背景なし、出願前 3 か月以内に単身で撮影したもの、カラー・白黒いずれも可）を貼付してください。 なお、入学願書と受験票には同じ写真を貼付してください。 また、試験時間中に眼鏡を使用する者は、必ず眼鏡をかけて撮影した写真を貼付してください。 ウ 入学願書と受験票は、切り離さずに提出してください。	○	○

(2) 推薦書	出身学校長が本学所定の様式（本学ホームページからもダウンロード可）またはそれに準ずるものにより作成し、厳封したもの ※一般推薦と資格推薦の両方に出願する場合は、1通のみ提出してください。	○	○
(3) 調査書	出身学校長が文部科学省の様式により作成し、厳封したもの ※一般推薦と資格推薦の両方に出願する場合は、1通のみ提出してください。	○	○
(4) 検定試験合格証の写し	資格推薦に出願した場合（一般推薦との両方に出願した場合を含む）、6ページの「3. 2 資格推薦への出願資格」に示されている検定試験合格証の写しを提出してください。	—	○
(5) 受験票返送用封筒	綴り込みの封筒に受験票送付先、あて名等を明記し、規定料金（定型50g以内・速達・簡易書留）分の切手を貼付してください。 なお、受取人（出願者）の敬称「様」は訂正しないでください。	○	○

5 調査書・推薦書等の活用方法

5. 1 一般推薦における活用方法

調査書・推薦書は、学力の3要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」）の評価に活用します。具体的な活用方法は以下のとおりです。

調査書は、出願者の高等学校における勉学の成果、資格・検定の取得、出席状況、クラブ活動や生徒会等の学内活動、各種競技会や展覧会などの学外活動を多角的な視点から評価を行い、点数化（10点）します。

推薦書は、調査書の評価の参考資料とするとともに、面接試験（口頭試問を含む）における質問事項の参考資料とします。

5. 2 資格推薦における活用方法

調査書・各種検定試験合格証の写し・推薦書は、学力の3要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」）の評価に活用します。具体的な活用方法は以下のとおりです。

調査書は、出願者の高等学校における勉学の成果、資格・検定の取得、出席状況、クラブ活動や生徒会等の学内活動、各種競技会や展覧会などの学外活動を多角的な視点から評価を行い、点数化（50点）します。なお、検定試験合格証の写しは、資格・検定取得の確認資料とします。

推薦書は、調査書の評価の参考資料とするとともに、面接試験（口頭試問を含む）における質問事項の参考資料とします。

6 入学前教育

学校推薦型選抜合格者に対して入学前教育を実施します。

合格者が在学する高等学校にも実施にあたりご協力をいただくことをご承知おきください。

IV 食物栄養学科

1 募集人員

一般推薦18名・資格推薦1名程度 ※特別推薦（指定校推薦）入学者を含みます。
※一般推薦と資格推薦の両方に出願できます。

2 選抜方法及び試験科目・配点

	選抜方法	試験科目	配点
一般推薦	右記試験科目による総合判定	調査書	25点
		小論文	25点
		面接（口頭試問を含む）	50点
資格推薦	右記試験科目による総合判定	調査書	50点
		面接（口頭試問を含む）	50点

※一般推薦の小論文は、適性、自己の考えなどを問う記述式の問題とし、英文読解を課さない。

3 出願資格

3. 1 一般推薦への出願資格

2ページの出願資格に加え、出身学校における「学習成績の状況」が3.0以上の場合に、食物栄養学科の一般推薦に出願することができます。

3. 2 資格推薦への出願資格

2ページの出願資格に加え、以下の検定試験のいずれかに合格している場合は、資格推薦に出願することができます（資格推薦のみ、または一般推薦及び資格推薦の両方に出願することができます）。

- (1) 日本英語検定協会主催 実用英語技能検定2級以上
- (2) 全国高等学校家庭科教育振興会主催 全国高等学校家庭科食物調理技術検定3級以上

4 出願書類等

		一般推薦	資格推薦
(1) 入学願書・受験票	本学所定の様式 ア 学校推薦型選抜の様式に記入してください。 ※一般選抜、総合型選抜とは別様式となっているので注意してください。 イ 所定の欄に写真（縦4cm×横3cm、正面上半身無帽、背景なし、出願前3か月以内に単身で撮影したもの、カラー・白黒いずれも可）を貼付してください。 なお、入学願書と受験票には同じ写真を貼付してください。 また、試験時間中に眼鏡を使用する者は、必ず眼鏡をかけて撮影した写真を貼付してください。 ウ 入学願書と受験票は、切り離さずに提出してください。	○	○

(2) 推薦書	出身学校長が本学所定の様式（本学ホームページからもダウンロード可）またはそれに準ずるものにより作成し、厳封したもの ※一般推薦と資格推薦の両方に出願する場合は、1通のみ提出してください。	○	○
(3) 調査書	出身学校長が文部科学省の様式により作成し、厳封したもの ※一般推薦と資格推薦の両方に出願する場合は、1通のみ提出してください。	○	○
(4) 検定試験合格証の写し	資格推薦に出願した場合（一般推薦との両方に出願した場合を含む）、8ページの「3. 2 資格推薦への出願資格」に示されている検定試験合格証の写しを提出してください。	—	○
(5) 受験票返送用封筒	綴り込みの封筒に受験票送付先、あて名等を明記し、規定料金（定型50g以内・速達・簡易書留）分の切手を貼付してください。 なお、受取人（出願者）の敬称「様」は訂正しないでください。	○	○

5 調査書・推薦書等の活用方法

5. 1 一般推薦における活用方法

調査書・推薦書は、学力の3要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」）の評価に活用します。具体的な活用方法は以下のとおりです。

調査書は、出願者の高等学校における勉学の成果、資格・検定の取得、クラブ活動や生徒会等の校内活動、各種競技会や展覧会などの学外活動を多角的な視点から評価を行い、点数化（25点）します。

推薦書は、調査書の評価の参考資料とするとともに、面接試験（口頭試問を含む）における質問事項の参考資料とします。

5. 2 資格推薦における活用方法

調査書・各種検定試験合格証の写し・推薦書は、学力の3要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」）の評価に活用します。具体的な活用方法は以下のとおりです。

調査書は、出願者の高等学校における勉学の成果、資格・検定の取得、クラブ活動や生徒会等の校内活動、各種競技会や展覧会などの学外活動を多角的な視点から評価を行い、点数化（50点）します。なお、検定試験合格証の写しは、資格・検定取得の確認資料とします。

推薦書は、調査書の評価の参考資料とするとともに、面接試験（口頭試問を含む）における質問事項の参考資料とします。

V 幼児教育・福祉学科

1 募集人員

38名 ※特別推薦（指定校推薦）入学者を含みます。

2 選抜方法及び試験科目・配点

	選抜方法	試験科目	配点
一般推薦	右記試験科目による 総合判定	小論文	50点
		面接（プレゼンテーション及び活動報告書に基づく口頭試問を含む） ※面接では活動報告書に基づく3分程度のプレゼンテーションを実施します。	50点

3 出願資格

2ページの出願資格を満たしている場合、一般推薦に出願することができます。なお、幼児教育・福祉学科では、出身学校における「学習成績の状況」について基準は設けません。

4 出願書類等

(1) 入学願書・ 受験票	本学所定の様式 ア 学校推薦型選抜の様式に記入してください。 ※一般選抜、総合型選抜とは別様式となっているので注意してください。 イ 所定の欄に写真（縦4cm×横3cm、正面上半身無帽、背景なし、出願前3か月以内に単身で撮影したもの、カラー・白黒いずれも可）を貼付してください。 なお、入学願書と受験票には同じ写真を貼付してください。 また、試験時間中に眼鏡を使用する者は、必ず眼鏡をかけて撮影した写真を貼付してください。 ウ 入学願書と受験票は、切り離さずに提出してください。
(2) 推薦書	出身学校長が本学所定の様式（本学ホームページからもダウンロード可）またはそれに準ずるものにより作成し、厳封したもの
(3) 調査書	出身学校長が文部科学省の様式により作成し、厳封したもの
(4) 活動報告書	受験者本人が作成したもの（任意様式）。「6 活動報告書について」を参照して作成してください。
(5) 受験票返送 用封筒	綴り込みの封筒に受験票送付先、あて名等を明記し、規定料金（定型50g以内・速達・簡易書留）分の切手を貼付してください。なお、受取人（出願者）の敬称「様」は訂正しないでください。

5 調査書・推薦書・活動報告書の活用方法

調査書・推薦書・活動報告書は、学力の3要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」）の評価に活用します。具体的な活用方法は以下のとおりです。

調査書は、面接時の資料として活用します（原則として点数化はしませんが、受験者が同点で並んだ際は、本学が定める基準に基づいて評価を行います）。調査書には、出願者の高等学校における勉学の成果、資格・検定の取得、クラブ活動や生徒会等の学内活動、各種競技会や展覧会などの学外活動の実績などを記載してください。特に、幼児教育・保育、社会福祉領域に関連する活動がある場合は、具体的な内容と活動頻度などを明記してください。

推薦書は、面接試験（口頭試問を含む）における質問事項の参考資料とします。入学志願者の学習や活動の成果を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価について、本学所定の様式に沿って記載し、3要素のいずれに対応した内容かが判別できるようにしてください。その際、生徒の努力を要する点などについても、その後の指導において特に配慮を要するものがあれば記載するようにしてください。努力を要する点・その後の指導における配慮事項は、直接合否に影響するものではありませんが、面接において受験者本人に改善方策や今後の取り組みについて質問する場合があります。

活動報告書は、面接試験で使用し3分程度のプレゼンテーション（面接試験時のパソコン利用は不可）を行っていただきます。高校時代に取り組んだ「学び」に関わる活動（各教科での学習や総合的な学習の時間における課題研究、読書、学校行事活動、ボランティア活動など）のうち、主なもの2つを記載してください。2つから1つを選び、当該活動から得られた「学び」が今後の学修とどのように関連しうるのか記載してください。

6 活動報告書について

面接試験で使用する活動報告書は任意の様式で作成いただいて構いません。最低限記載が必要な内容・様式は以下のとおりですので、遺漏のないように準備してください。なお、プレゼンテーションは3分程度ですので、時間内に説明できる分量の資料を作成してください。

6. 1 様式

- A4サイズとします。縦横は問いません。ページ数の指定はありません。
- パソコン、手書きは問いません。
- 各ページの右下に、1/4、2/4…のようにページ番号を付してください。なお、ステープル（ホチキス）で綴じないようにしてください。（クリップどめは可。）
- 写真・絵、グラフ・図表・CGなどを使用しても構いません。

6. 2 必ず記載する必要がある内容

※要件を満たさない場合は減点となる場合がありますので、よく確認して作成してください。

① 表紙

- （ア）タイトル 発表内容を反映したタイトルを記載してください。
- （イ）学校名・学科名 願書に記入したものと同一の学校名及び学科名を記載してください。
- （ウ）氏名 願書に記入したものと同一の氏名を記載してください。

② 高校時代に力を入れた活動2点

- （ア）必ず2点になるように記載してください。
- （イ）2つに分けて記載されていれば、それぞれの活動が関連していても構いません。
- ③ 上記②に記載した活動から1つを選択し、内容を詳しく説明（紹介）してください。
- ④ 当該活動から得られた「学び」が今後の学修とどのように関連しうるか説明してください。

6. 3 面接試験室に持ち込めるもの

必要に応じて以下のものを使用しても構いません。（面接試験室に携行することができます。）

- （ア）読み上げ原稿（面接官に配付することはできません。）
- （イ）活動報告書の写し
- （ウ）その他、6. 4で禁止されていないもの

なお、面接官は提出された活動報告書をコピー（白黒）したものを手元資料として使用します。

6. 4 面接試験室に持ち込めないもの

以下のものは面接試験室への持ち込みを禁じます。

- (ア) 活動に関する動画や音声、活動に関連した制作物
- (イ) パソコンやスマートフォンなどの機器
- (ウ) 面接官への配付や提示を目的とした資料

6. 5 記載例

以下では一例として、Microsoft PowerPointで作成した記載例を掲載します。準備の際の参考としてください。

なお、解説文の丸囲みの番号（①～④）は、6. 2に示した番号に対応しています。

[例示]

タイトル

高校・学科名：会津大学短期大学部附属高等学校・普通科
氏 名：会津 太郎

1/4

⇒ ① 表紙にはタイトルと学校名・学科名・氏名を願書に記入した内容と同じになるように記載してください。
タイトルは副題を設けるなど伝えたいことがわかりやすくなる工夫をしても構いません。
右下にページ番号を付してください。（2ページ目以降は、ページ番号の左隣に氏名も記載してください。）

[例示]

高校時代に力を入れたことを2つ記載

- ・力を入れたこと①
 - ・ 概要
- ・力を入れたこと②
 - ・ 概要

上記から1つを選択し、次のページに詳細をまとめる

会津太郎 2/4

⇒ ② 高校での活動内容2点を記載してください。
例では箇条書きになっていますが、2点記載されていれば形式は問いません。
なお、高校入学より前から行っている活動を記載する場合は、高校在学中の活動が主たる内容になるようにしてください。

[例示]

見出し（力を入れたこと）

- ・活動内容が初見でもわかるように記載すること
- ・必要に応じて図や写真を用いて視覚的にわかりやすいものとする
こと。フォントや色などは自由に使用して問題ない

会津太郎 3/4

⇒ ③ 必ず②に示した2点から1点を選択してください。内容や表現の仕方は自由ですが、面接官にわかりやすく伝わる資料作成を心がけてください。
➡ 例えば、写真や絵を用いたり、活動の全体像がわかるようなフローチャートを作成したりすると理解しやすくなります。

[例示]

今後の学修について

- ・「力を入れたこと」から得た「学び」が今後の学修にどのように繋がるかと考えているか
- ・「力を入れたこと」をふまえて今後どのようなことを学んでいきたいか

会津太郎 4/4

⇒ ④ 発表のまとめとして③の活動から得られた学びが今後の学修とどのように関連するか記載してください。

Ⅵ 参考情報

1 奨学制度

奨学金制度で代表的なものに日本学生支援機構奨学金（給付、貸与）があり、その他に福島県等各地方公共団体、各種団体で実施する奨学制度、幼児教育・福祉学科の学生を対象とした保育士修学資金貸付制度があります。募集は入学後に行います。

1. 1 日本学生支援機構奨学金

人物、学業ともに優れ、経済的理由により就学困難な学生に対して経済的支援を行うことを目的としています。

1. 2 福島県奨学金（無利子貸与）

福島県が行う奨学金制度で、人物、学業ともに優れ、経済的理由により修学困難な福島県出身の学生に対して経済的援助を行うことを目的としています。

1. 3 都道府県保育士修学資金貸付制度

各都道府県社会福祉協議会が行う修学資金の貸付事業で、幼児教育・福祉学科の学生を対象とした制度です。要件を満たせば返還が免除されます。

1. 4 その他

上記奨学金の他にも地方公共団体や民間育英団体の給付あるいは貸与の奨学金制度があります。

2 寮・アパート・下宿

女子学生寮「一箕寮」、本学付近のアパート等の情報が必要な場合は本学事務室までお問い合わせください。

Ⅶ 個人情報の取り扱いについて

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「公立大学法人会津大学が取り扱う個人情報の保護等に関する規則」に基づいて取扱います。

- (1) 出願にあたって知り得た氏名、住所その他の個人情報は、① 入学者選抜（出願処理、選抜実施）、② 合格者発表、③ 入学手続事務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績は、入学後の教育指導及び今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
- (3) 出願にあたって知り得た個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ① 教務関係（修学指導等）、② 学生支援関係（学籍、健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請、入寮者選定）、③ 授業料徴収関係の業務を行うために利用します。